

郵便はがき



ニッシン債権回収株式会社 株主通信

第11期 報告書 平成23年4月1日 ▶ 平成24年3月31日



株主名簿管理人
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社
証券代行部 TEL. 0120-288-324

① 開く 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、東日本大震災や欧州における金融不安、円高の長期化などの影響により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、資産と負債の圧縮及びコストの削減、受託業務の拡大等による資金効率を高めた収益構造への転換を図ることを重点課題とし、経営改善に努めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

もりいずみ ひろかず
森泉 浩一

会社の概要

| | |
|-------|---|
| 商号 | ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.) |
| 証券コード | 8426 |
| 設立 | 平成13年7月11日 |
| 本社 | 東京都千代田区九段南4-2-11アビスタ市ヶ谷ビル TEL. 03-5210-1751 (代表) |
| 営業許可 | 平成13年10月25日(法務大臣許可番号第58号) |
| 資本金 | 30億3,632万円(平成24年3月31日現在) |
| 従業員数 | 連結47名 |

要約連結貸借対照表

(百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 24,988 | 21,663 |
| 固定資産 | 2,245 | 1,722 |
| 資産合計 | 27,233 | 23,386 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 18,469 | 18,658 |
| 固定負債 | 2,368 | 900 |
| 負債合計 | 20,838 | 19,558 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 2,526 | 717 |
| その他の包括利益累計額 | 14 | — |
| 新株予約権 | 62 | — |
| 少数株主持分 | 3,792 | 3,109 |
| 純資産合計 | 6,394 | 3,827 |
| 負債純資産合計 | 27,233 | 23,386 |

要約連結損益計算書

(百万円)

| | 前連結会計年度 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) |
|-------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業収益 | 6,168 | 6,360 |
| 営業費用 | 3,320 | 3,555 |
| 営業総利益 | 2,847 | 2,804 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,495 | 1,210 |
| 営業利益 | 1,351 | 1,594 |
| 営業外収益 | 128 | 23 |
| 営業外費用 | 1,036 | 1,069 |
| 経常利益 | 443 | 548 |
| 特別利益 | 96 | 62 |
| 特別損失 | 992 | 2,132 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △451 | △1,522 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6 | 4 |
| 法人税等調整額 | △56 | — |
| 少数株主損益調整前当期純損失(△) | △402 | △1,527 |
| 少数株主利益 | 108 | 281 |
| 当期純損失(△) | △510 | △1,808 |

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

| | 前連結会計年度 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) |
|------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,048 | 3,960 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 870 | 682 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,277 | △3,444 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 1,642 | 1,197 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,193 | 3,836 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,836 | 5,034 |

連結業績概況

当連結会計年度の営業収益につきましては、金融機関による不良債権処理の減少により、新たな不良債権の買取は低調に推移いたしました。既存債権の回収及び不動産の売却が進捗したことから、買取債権回収高3,279百万円(前連結会計年度比30.9%減)、不動産売上高1,655百万円(前連結会計年度は2百万円)、不動産賃貸収入669百万円(前連結会計年度比17.9%減)、その他の収益756百万円(同25.6%増)を合わせ、合計では6,360百万円(同3.1%増)となりました。

営業費用につきましては、買取債権回収高に伴う債権買取原価1,682百万円(同45.1%減)、買取不動産の売却に伴う不動産売上原価1,769百万円(前連結会計年度は65百万円)、不動産賃貸原価94百万円(前連結会計年度比24.8%増)、その他の原価9百万円(同91.7%減)を合わせ、合計では3,555百万円(同7.1%増)となりました。この結果、営業総利益は2,804百万円(同1.5%減)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に給料手当258百万円(同4.4%増)、貸倒関連費用226百万円(同35.4%減)等を計上し、合計1,210百万円(同19.1%減)となりました。この結果、営業利益は1,594百万円(同17.9%増)となりました。

営業外収益は23百万円(同81.9%減)となり、また、営業外費用につきましては、主に支払利息886百万円(同8.5%減)により、合計で1,069百万円(同3.2%増)となりました。この結果、経常利益は548百万円(同23.5%増)となりました。

特別利益は62百万円(同35.8%減)となり、特別損失につきましては、主に債務保証先の破産手続開始決定により債務保証損失引当金繰入額1,321百万円、取引先に対する債権の回収可能性の再評価を行った結果、貸倒引当金繰入額800百万円を計上したことにより、合計で2,132百万円(同114.9%増)となり、この結果、税金等調整前当期純損失は△1,522百万円(前連結会計年度は税金等調整前当期純損失△451百万円)となりました。

また、法人税等関連費用4百万円、少数株主利益281百万円(前連結会計年度比158.3%増)の計上により、当期純損失は△1,808百万円(前連結会計年度は当期純損失△510百万円)となりました。

報告事項

1. 第11期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。

2. 第11期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

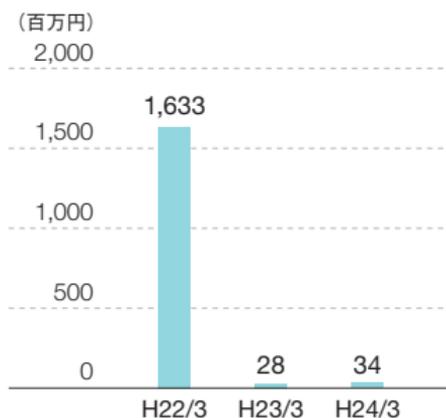
- 第1号議案 取締役3名選任の件

本件は原案どおり取締役として森泉浩一、山口達也、児玉譲の各氏がそれぞれ選任され、就任いたしました。

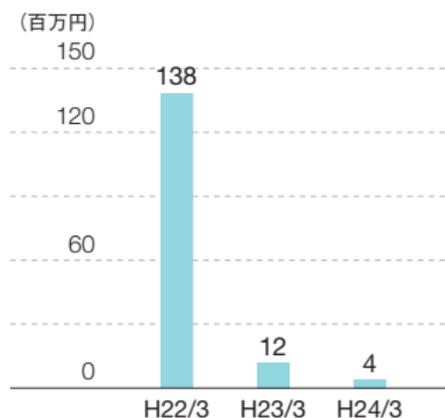
- 第2号議案 監査役1名選任の件

本件は原案どおり監査役として白石幸雄氏が選任され、就任いたしました。

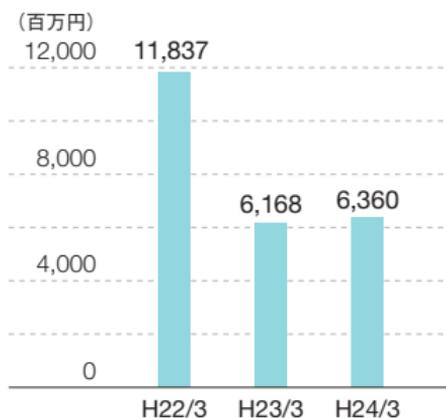
債権買取額



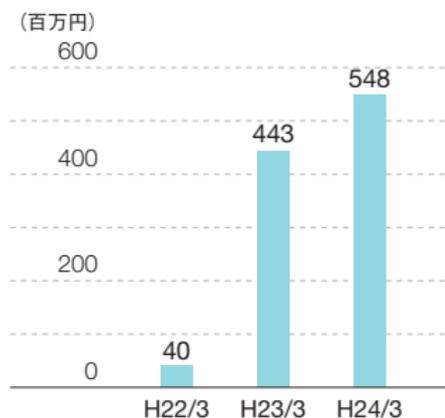
不動産買取額



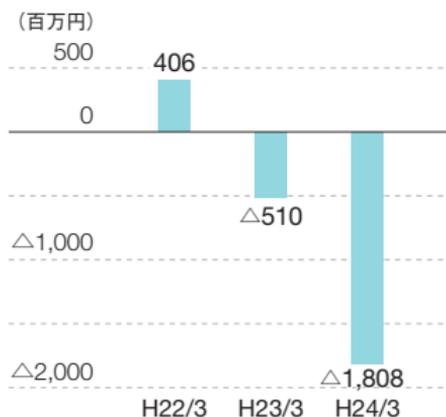
連結営業収益



連結経常利益



連結当期純利益又は当期純損失(△)



営業資産の内訳

